

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	02	国民健康保	事業主体	01600000	市民福祉部 国保年金課	
大事業	62	6つのまちづくり宣言	款項目	05	保健事業費	
		目指す姿	01	保健事業費	01	保健事業費
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-	目標値	-
小事業	07	一般保健事業	目標年度	令和6年度		

インプット	事業実施の背景にある課題	少子高齢化の急速な進行や医療の高度化・高額化等により国民医療費は年々増大し今後も伸び続けることが想定されることから、国民健康保険会計の健全な財政運営が課題である。				
	事業目的	(1)対象 国民健康保険被保険者 (2)目的 医療の給付の対象となる保険事故の発生を未然に防止し、あるいは疾病を早期に見つけて重症化を防止する措置を講ずるなど、健康の保持増進を図る。				
	事業概要	健康・福祉フェスティバルにおいて、健康状態の測定やチラシ配布等を行い、市民への啓発を図る。被保険者に、健康診査を受診することで疾病を早期に見つけて重症化を防止する予防事業を行う。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	680	680	680	530	
	決算額	0	0	56		
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	335 /			0	

アウトプット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	健康に関するイベントへの参加	目標値	1	1	1	1
		実績値	0	0	1	

アウトカム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	特定健診受診率	目標値	47	51	55	60
		実績値	31.1	33.5	34.6	

実績	実績	R4.10.22開催の健康・福祉すこやかフェスティバルにて、特定健診受診、メタボリックシンドロームの啓発を行った。
	効果	当該事業により疾病に対する予防や早期発見早期治療への意識向上につながり特定健康診査の受診率アップの要因の一つとなったと考えられる。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和2年度・令和3年度と新型コロナウイルス感染症の影響により、健康・福祉すこやかフェスティバルは中止となったため、令和4年度は3年ぶりの開催となった。以前と同様な測定等は、密になり、待ち時間もあるため、今年度はパネル展示やチラシ配布による啓発事業を行った。このような市民が集まる機会をとらえ特定健康診査等の受診勧奨を行い疾病予防や早期発見早期治療への取り組みを呼びかけたが、なかなか行動につながらず受診率は微増はしたが目標達成までには至らなかった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	健康診査受診には検査項目によっては前日からの準備が必要であったり当日も約半日は拘束されたりすることから、なかなか行動に移すことが難しいと思われ、新規受診者が増えないと考えられる。
	実績からR05年度の事業の方向性	健康・福祉すこやかフェスティバルに参加してパネル展示やチラシ配布による健康診査受診勧奨を行うとともに市公式SNS等を利用しての受診勧奨を検討する。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	02	国民健康保		事業主体	01600000	市民福祉部 国保年金課	
大事業	62	6つのまちづくり宣言	款項目	01	総務費	02	徴収費
		目指す姿	KPI	-			01 賦課徴収費
中事業	01	主要な取り組み					目標値 -
小事業	36	賦課徴収事業	目標年度	令和6年度			

インプット	事業実施の背景にある課題	国民健康保険料を適正に賦課を行う必要がある。また徴収をしていかないと未納者と納付者間で不公平が生まれてしまう。				
	事業目的	対象 保険料の賦課徴収事務 目的 保険料の賦課徴収を行い、滞納者には納付を促し、保険料を確保する。				
	事業概要	国民健康保険の事務の執行に要する経費のうち、保険料の賦課及び徴収に関する経費				
	事業費 (千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	11,541 6,060	10,078 8,417	9,802 8,093	9,780	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	3,597 / 3,588					

アウトプット	活動指標 (単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	預金差押、給与差押件数	目標値	600	650	800	800	800
		実績値	293	577	1192		

アウトカム	KPI (単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	現年度分収納率 95%	目標値	93	94	95	95	95
	過年度分収納率 34%	実績値	93.37	94.59	94.75		

実績	実績	差押件数 1,192件 収納率 全体収納率 86.31% 現年度分 94.75%、過年度分 35.90%
	効果	預金差押及び給与差押の増加による徴収率の向上

評価分析	活動指標分析 目標値の達成・未達成要因	預金調査及び実態調査を積極的に行い、適切な滞納処分につなげることができたことで大幅に差押件数が増加した。
	KPI分析 目標値の達成・未達成要因	差押件数が増加したことで前年度より収納率は上昇したが、目標値に達することが出来なかった。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き預金調査及び実態調査を行い、滞納処分につなげる。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	02	国民健康保		事業主体	01600000	市民福祉部 国保年金課
大事業	62	6つのまちづくり宣言	款項目	05	保健事業費	02
		目指す姿				
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-		目標値 -
小事業	46	特定健康診査等事業費	目標年度	令和6年度		

インプット	事業実施の背景にある課題	日本人の生活習慣の変化等により糖尿病などの生活習慣病が増加し医療費の約3割、死亡原因の約6割を生活習慣病が占めていることから、平成20年4月から40歳から74歳までを対象とした特定健康診査等の取り組みが始まった。国民健康保険会計の健全な財政運営のためにも生活習慣の見直しによる疾病予防や早期発見早期治療による医療費の抑制が課題である。				
	事業目的	(1)対象 国民健康保険 40歳以上の被保険者  (2)目的 40歳以上の被保険者の内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)該当者及び予備群を減少させることにより、健康増進と医療費の減少をはかる。				
	事業概要	高齢者の医療の確保に関する法律第20条及び第21条の規定により、平成20年度から保険者が40歳以上の被保険者を対象に、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の該当者及び予備群を減少させるための健診及び保健指導を行うもの				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	48,294	48,294	50,939	51,353	
	決算額	31,755	31,910	34,046		
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	713 /			0	

アウトプット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	受診勧奨の媒体の数	目標値	6	7	7	8	8
		実績値	6	7	7		

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	特定健診法定報告の受診率	目標値	47	51	55	60	60
		実績値	31.1	33.5	34.6		

実績	実績	周知の実績 ・7月の保険証一斉更新時と10月時点で特定健診未受診者に対して受診勧奨チラシ発送 ・広報10月号で特定健診特集記事掲載 ・受診勧奨ポスター掲示、デジタルサイネージ掲載 ・CCネットで受診勧奨動画を随時放映 ・12月FMららで受診勧奨放送 健診受診・保健指導の実績 ・令和4年度受診率34.6%
	効果	令和3年度特定健診受診率に対して令和4年度は微増となったことから、様々な媒体や機会を利用しての受診勧奨の効果があったと考えられる。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	保険証発送時に個人宛に直接勧奨チラシを同封して発送したり、10月広報で特集を掲載するなど、受診勧奨の機会として様々な媒体を利用できたことが受診率アップにつながったと考えられるが、行動を促すことはかなりハードルが高く大幅なアップとまではいかなかった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	受診率は微増しているが、目標値には程遠い。通院している場合は、特定健診を受診しないケースもある。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き受診勧奨を行い、受診率向上、医療費抑制を図っていく。また健康課が年2回実施する集団健診にあわせて特定健診を実施する予定。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	08	後期高齢者	事業主体	01600000	市民福祉部 国保年金課
大事業	68	6つのまちづくり宣言	款項目	03	保健事業費
		目指す姿	01	健康保持増進事業費	01
中事業	01	主要な取り組み	KPI	-	目標値
小事業	01	後期高齢者健康診査事業	目標年度	令和6年度	-

インプット	事業実施の背景にある課題	近年糖尿病や高血圧症などの生活習慣病の発症や重症化が増えている。加えて、後期高齢者は加齢に伴う心身の衰えが顕著であり、発病してからの受診では手遅れになってしまう可能性がある。				
	事業目的	(1)対象 後期高齢者医療受給者 (2)目的 高齢者の健康管理意識の醸成と健康保持				
	事業概要	高齢者が安心して医療を受けられるよう後期高齢者医療広域連合と連携して事務・事業を行う。(広域連合から委託を受け健康診査を実施する。)				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	30,264	29,912	29,905	29,658	
決算額	15,223	14,484	17,262			
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	240 / 505					

アウトプット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	受診勧奨率	目標値	100	100	100	
	実績値	100	100	100		

アウトカム	KPI(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	健康診査受診率	目標値	22	22	20	21
	実績値	19.4	19.8	21		21.5

実績	実績	受診者数 ぎふ・すこやか健康診査 1,414人
	効果	後期高齢者に健康診査を実施したことで生活習慣病の早期発見・早期治療につながった。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成・未達成要因	後期高齢者には保険料納付書に受診チラシ必ず同封したため、目標値を達成できた。 R5年度から活動指標を活動が分かりやすい目標にするため、受診勧奨率ではなく受診勧奨回数に変更する。
	KPI分析 目標値の達成・未達成要因	受診勧奨を行った結果、目標値には届かなかったが受診率は少し増加している。 後期高齢者になると既に医療機関に通っているため、受診率は大きく上がってこないと考えられる。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き受診勧奨を続けていくが、R5年度から検査項目を血糖値に加えてヘモグロビンa1cを追加したことで一時的な血糖値の上昇ではなく3か月ほどの健康状態を把握できるように変更する。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	08	後期高齢者		事業主体	01600000	市民福祉部 国保年金課			
大事業	68	6つのまちづくり宣言	款項目	01	総務費	02	徴収費	01	徴収費
		目指す姿	K P I	-			目標値	-	
中事業	01	主要な取り組み							
小事業	04	後期高齢者医療保険料徴収事務	目標年度	令和6年度					

インプット	事業実施の背景にある課題	後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者世代の負担を明確にし、公平な制度とするとともに、これからも安心して医療を受けることができるように老人医療費を被保険者（加入者）も含めた社会全体で支えあうために創設された。市が保険料を徴収する必要があり、未納者から保険料を徴収しなければ納付者間で不公平が生じる。				
	事業目的	(1)対象 後期高齢者医療受給者 (2)目的 後期高齢者医療保険料を徴収し高齢者が安心して医療を受けられる制度体制を整える。				
	事業概要	高齢者が安心して医療を受けられるよう後期高齢者医療広域連合と連携して事務・事業を行う。(保険料徴収や各種届出書の窓口が市の担当でありその事務を行う。)				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	15,147	8,378	11,474	9,106	
	決算額	9,248	7,378	9,972		
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	717 /			400	

アウトプット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	口座振替率	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	保険料収納率	目標値	99.6	99.8	99.8	99.8	99.8
		実績値	99.7	99.7	99.5		

実績	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の収納率99.55%</li> <li>現年収納率99.68%</li> <li>滞納繰越分収納率49.11%(不納欠損後)</li> <li>差押件数:延べ54人</li> <li>口座振替率75.75%</li> </ul>
	効果	口座振替を勧奨し口座振替としてもらったことにより納付忘れを防ぎ収納率の低下を防ぐことが出来た。差押等を行い納付者同士の公平性を保つことが出来た。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	後期高齢者医療制度に加入した者に対して口座振替の勧奨を必ず行うことができたため目標値を達成できた。現在の指標はKPI達成への運動性が薄いためR5年度以降は指標を口座振替率に変更する。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	年齢到達者の納付忘れが影響している。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き口振勧奨を行い納付方法を口座振替とすることで、収納率の低下を防ぐ。また、滞納者への催告から差押をスムーズに行うことで収納率を向上させていく。